

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 大昌建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、会社のあるべき姿を社員に説明し、共有している。								8	9												17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・定例会議や現場朝礼等で周知を行い、法令順守の必要性を全社員に向けて発信している。																					16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全社員に向け、その重要性を社内定例会議において発信し周知させている。										10											16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・現場責任者、担当者を任命し、役割や体制を明確にしている。																					16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する勉強会を定期的実施している。								8.2		9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報は、特定者のみが取扱い、適正に管理している。																					16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・社内で定期的に価格変動や市場動向について協議・啓発し、発注元や取引先との、より良い関係性を構築するコミュニケーション能力を高めるよう努めている。																				16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・建設現場におけるサプライチェーンマネジメントとして、コンクリート工事等が有り、生コン工場への出荷計画、配合計画、品質管理情報をデータで共有し、人的ミス等を無くすように努めている。					5					8		10		12	13	14	15	16		17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを作成して、社員全員が周知している。 ・安否確認サービス(グループLINE)で繋がり、情報を共有している。 ・集団感染予防でインフルエンザ予防接種を会社負担で行っている。 ・防災備蓄食を保管している。										9			11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2		5				8				12	13	14	15	16		17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。				4.3	5.1				8.5		10.2								16.1		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・協力会社と共に安全衛生協議会をつくり、安全大会を開催している。 ・安全衛生協議会主催の安全パトロールを定期的実施している。			3						8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・就業規則に沿って、社員の公正な処遇を行っている。					5.5				8.5		10.2	10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇取得推奨日を設けて、有給休暇の取得率向上を図っている。 ・介護休暇、育児休暇については、就業規則に改めて記載してあり、会社内の相互理解を深める為に定例会議を設け、諸問題は会社全体で対応することにより男性職員でも取りやすい環境づくりをしている。				3	5.5				8.5		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修や資格取得のための受講費用を助成している。				4	5.5				8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断・インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。								3		8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1	5.5			8.5		10.2	10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・社員のマスク着用、手指消毒、体温管理を徹底している。 ・講習会等のオンライン講習を推奨している。								3		8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・現場の撮影にドローンを活用している。										8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・令和4年度にプライト企業に認定されている。				3	4					8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 大昌建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物を外部委託し、マニフェスト伝票により適切に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内の照明をLED照明に交換し、電力の削減に取り組んでいる。 ・ガソリン使用料は社員各自に毎月使用分のガソリン券を発行して全量を把握している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・本社内及び現場事務所などにおける適切な冷暖房管理を行い、温室効果ガスの排出抑制に努めている。 ・電気使用量は、毎月の定例会議において発表し、適切な使用料について会議の議題としている。 ・【予定】2022年12月までに県の簡易計算シートを基にCO2排出量を把握する。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・建機の導入に当たっては、低燃費、低振動、低騒音等の機器類の導入を進めている。 ・事務所に観葉植物を置いて環境対策を行っている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・可能な限り裏紙の利用を推進して、資源の有効利用をしている。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場で発生する汚水や汚泥は適切な処置をして排出を行っている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・物品の購入に当たっては、リサイクル可能な商品を購入するよう心掛けている。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・本社の花壇に常緑樹を植栽して、緑の創出を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチック製ファイルの使用を減らし、紙製のファイバーファスナー・ストッパーを使用し、プラゴミ類は適正処分をし、環境保全に取り組んでいる。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 大昌建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・建築物は芳れに沿った各種検査を行い、瑕疵担保責任保険に加入するなど対応している。			3.9							9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープや手すりの設置等、誰もが利用しやすいサービス提供・環境整備に取り組んでいる。										9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県産の木材を優先的に活用し、地産地消を推奨している。			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																						
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・各種団体主催のボランティア活動に積極的に参加している。 ・古切手を集めて、地域のボランティア団体に寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・BCP計画を作成して社員に周知している。 ・社員全員が市作成のハザードマップを確認すると共に、あらかじめ避難場所や避難ルートの確認を行っている。				4								11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・天草広域本部と熊本県建設業協会の大規模災害時の支援活動に関する協定書に基づき災害時に対応できるようにしている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●												9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●																						
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生のインターンシップを積極的に受け入れている				4							8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地域の合同企業説明会へ参加し、地元の生徒、学生の積極採用に取り組んでいる。				4.4							8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					4.3 4.4 4.5							8.6		10.2		12	13	14	15		17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。